

# JALAP 法律事務職員セミナー

## 不動産登記制度・登記簿 — その始まりと変遷

豊臣秀吉の太閤検地の目的は税の徴収。  
明治にできた不動産登記の目的も同じく税金、だから管轄はいまの財務省。  
それがどうして法務局になったのか？  
土地台帳と不動産登記簿の違いは？  
今回のセミナーでは、不動産登記制度の目的、登記簿の仕組みなどの変遷をたどりながら、現在の制度になってきたのか解説してもらいます。  
講師は法務局で長年働いてこられた司法書士の方です。  
ご都合がつけば、ぜひ受講してください。  
セミナーは会場とオンライン受講のハイブリッドですが、講義終了後、懇親会で講師と交流する予定ですので、可能な方はぜひ会場までおこしてください。  
講義終了後に質疑応答を予定しています。この機会に聞いてみたいということがあれば申込書に書いてください。  
多くの皆様のご参加お待ちしております。



と き 11月29日（土）14時開会（16時半過ぎに終了予定）

ところ 大阪弁護士会館9階902号室

（オンライン受講も可能です）

講 師 司法書士 田中五郎先生（奈良県司法書士会・元大阪法務局登記官）

参加費 2000円（JALAP会員は無料）

（別紙参加申込書に必要事項ご記入のうえ、11月19日までにお申し込みください。）

JALAPに会員登録されていない方には参加費振込口座をお知らせしますのでご送金ください。恐れ入りますが振込手数料はご負担願います）

問合せ先：06-6857-3900 橋本

## JALAPとは？

日本弁護士補助職協会の略称です。2013年に日弁連能力認定試験合格者を中心に有志の弁護士と共同で、事務職員がさらに能力を伸ばし、充実した仕事ができるようサポートすることを目的に発足した法律事務員の全国組織です。

昨年6月から日弁連能力認定試験の可否や受験の有無にかかわらず、法律事務職員であればだれでも会員に登録できるようにするとともに、事務所単位で登録する団体会員制度ももうけ、セミナーの無料化など会員サービスの充実を図っています。

これまで合格者会員登録をしていた方も、していなかった方もこの機会にぜひ会員登録してください。

会員登録手続き、会費、会員サービスなどについては、下記ホームページをダウンロードしてください。

<https://jalap.jp>

